静岡市

報道資料

（2026年11月4日発表）

11月11日「知・地域共創コンテスト UNITE2026」二次審査会の開催

【市長の出席　有】

「知・地域共創コンテスト UNITE2026」の二次審査会を公開プレゼン形式で開催します。

一次審査を通過したスタートアップと市、地域団体などで構成する11の「共創チーム」が、社会課題解決に向けたプロジェクトを発表します。外部審査員による審査を行い、実証実験に進むプロジェクトを選定します。

【趣旨・背景】

・静岡市は、スタートアップが持つ新たな知見や技術と、地域団体・コミュニティなどが持つ地域の力を組み合わせ、社会課題の解決につなげる新たな社会システムの構築を目指し、2024年度から「知・地域共創コンテスト」を開催しています。

・3回目となる2026年度は、市が提示した18項目の社会課題に加え、スタートアップが提案する社会課題も対象とし、市や地域団体などとスタートアップが共働して解決を目指す共創事業を募集しました。市内外のスタートアップから196件の応募があり、一次審査の結果、11社を選定しました。

・一次審査通過企業と社会課題の所管する市の担当課などによる「共創チーム」を立ち上げ、社会課題解決に向けたビジネスモデルの構築や実証実験内容の具体化を進めてきました。

【二次審査会概要】

日時：2026年11月11日（水曜日）13時から18時まで

会場：静岡音楽館 AOI 7 階　講堂（葵区黒金町 1-9）　※会場は途中入退場可。オンラインで同時配信。

タイムスケジュール：

13時～　開会

13時15分～　共創チームによる発表（各チーム発表7分＋質疑応答3分×11チーム）

前半6チーム：13時15分～、後半5チーム：14時40分頃～

16時～　UNITE2025 選定事業の進捗報告

16時25分～　選定結果発表

17時～　閉会・参加者交流会

詳しくは、「知・地域共創コンテスト」専用ホームページ（https://shizuoka-city-startup.com/）をご覧ください。

【取材について】

事前連絡は不要です。当日直接会場までお越しください

【問い合わせ先】

経済局　産業政策課（清水庁舎5階）、担当者：木下、遠藤　電話：054-354-2313

【別紙資料等】

有（二次審査会登壇者一覧）

知・地域共創コンテスト UNITE2026 共創チーム一覧

別紙

登壇順	分野	共創事業タイトル	共創事業概要	登壇者（共創チーム）	
				企業（代表者/共同提案者）	課題所管課
1	こども・教育	「発達が気になる」その日から、頼れる支援につながるまちへ AIサポートブックで家族と支援をつなぐ、静岡市の新しいインフラ	障害児を育てる保護者の目線での医療・福祉、サービス種別の分野横断的なデータベースを構築し、保護者自らの検索やLINE相談などにより最適な支援事業者につながる仕組みの構築	株式会社NEWSTA （東京都世田谷区）	障害福祉企画課 （保健福祉長寿局）
2	スポーツ	スポーツ資源と企業の共創による、 地域還元型ビジネス創出エコシステム	「静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度」の認定を受けた企業・団体のコミュニティの活性化を核とし、ブランディングや人材育成などの企業の経営課題の解決につながるスポーツ資源を活用したプロジェクトを創出する仕組みの構築	株式会社竹屋旅館 （静岡県静岡市）	スポーツ振興課 （観光文化・市民局）
3	都市基盤	経験を資産に。 AIと人が支える設計・積算チェック	発注図書を横断して突き合わせて解析することが可能なAIチェックツール「Contex」を活用し、図面と設計基準、図面と数量計算書、数量計算書と設計書の不整合の自動検知と、人による確認や承認を組み合わせた新たな設計積算チェック体制の仕組みづくり	ONE STRUCTION 株式会社 （鳥取県鳥取市）	技術政策課 （建設局）
4	観光	人 × AIでつくる、 静岡市の新しい”おもてなし”	AIによるルート提案を行う旅行計画アプリ「ぷらる」を活用し、地域の観光情報や旅行者の条件設定を反映したルート提案と、旅行者の訪問傾向の分析・改善による、人とAIによる新たな観光案内の仕組みづくり	株式会社Plaru （東京都杉並区）	観光国際課 （観光文化・市民局）
5	環境	静岡の太陽光を、次の世代へ。 地域で、健全なうちに判断できる仕組み	太陽光設備状況の把握から性能・寿命評価、修繕・撤去などの判断、地域事業者と連携した工事やリパワリングの処理までを一気通貫して対応可能なプラットフォームの構築による、持続可能な再エネ運営モデルの構築	E-Second合同会社 （大阪府大阪市）	GX推進課 （環境局）
6	農業	農業技能人材とICTによる、 静岡茶産地の労働力シェアリング	82Worksが雇用・育成した農業技能人材と現場責任者でチームを編成し、現場管理を含めた作業受託の体制を構築するとともに、マッチングアプリを用いて複数の農家と作業受託チームをつなぐ、新たな農作業モデルの構築	株式会社82Works （山梨県大月市） 株式会社パーソナルビジネス（川崎市） 株式会社アグリマインド（山梨県北杜市）	農業政策課 （経済局）
7	農業	茶畑のサービス化を起点とした、 耕作放棄地の防止と茶業の発展	茶畑自体のサービス化（お茶の栽培以外のサステナブル価値等の提供を含んだ高付加価値化）を起点とした、茶畑集約と茶生産～加工～販売までを一貫提供する産地化による耕作放棄地防止の仕組みづくり	株式会社Blue Farm （静岡県浜松市）	農業政策課 （経済局）
8	こども・教育	AIで学校給食の「安心」を守り、「学び」を広げる	多種多様な食品書類からAIでアレルゲンや栄養素を自動抽出・可視化することにより、確認作業を効率化するとともに、食材費、栄養価を考慮した献立作成を支援する仕組みづくり	株式会社taberugi （東京都豊島区）	学校給食課 （教育局）
9	まちづくり	挑戦者とオーナーをつなぐ、 新しい不動産流通の仕組み	公共空間を1日単位で小区画で利用できる仕組みを構築し、新たに商いをはじめる挑戦者の活動機会を創出するとともに、こうした挑戦者の事業内容の事業内容、背景を可視化して公開し、物件所有者につなくことで、遊休不動産の利用を促進する新しい仕組みの構築	株式会社On-Co （三重県桑名市）	都市計画課 産業基盤強化本部 （都市局・経済局）
10	環境	南アルプスのネイチャーポジティブと 自然資本価値循環モデルの構築	衛星データやドローン、現地調査による生物多様性の保全活動の定量的な評価と、その成果をクレジット化して地域内で売買できる市場の整備により、環境価値を経済価値に変換し、保全活動に再投下する地域循環モデルの構築	静銀経営コンサルティング株式会社 （静岡県静岡市） 株式会社バイオーム（京都市） 株式会社DeepForest Technologies（京都市）	環境共生課 （環境局）
11	環境	必要な森に、確実に手が入る仕組みを。 衛星と現場の知見で、豊かな森を次世代へつなぐ官民共創	衛星データとAIを用いて森林の現況や整備効果を可視化することで、森林所有者との合意形成を効率化するとともに、採算性や集約可能性の評価を基に施業実施までの期間を短縮する新たな森林経営管理モデルの構築	株式会社Archeda （東京都千代田区）	森林経営管理課 （環境局）

※共創事業概要は一次審査通過時点のものです。